

みやさか活性化協議会が 地域の街道を核とした活性化構想を作成しました

（仮称）神坂PAスマートインターチェンジから付知地区へ抜ける主要道路を「みやさか街道」と位置づけ、地域の発展を目指して活性化構想を作成しましたので、市長へ報告します。

■日時

令和5年3月29日（水曜日） 14：30～

■場所

中津川市役所 3階 公室

■報告者

みやさか活性化協議会役員

- ・会長 安江 貞夫 氏（坂下）
- ・観光推進部会長 大脇 和人 氏（神坂）
- ・移住定住対策部会長 堀田 時男 氏（川上）

■内容

- ・「みやさか活性化協議会」とは、神坂、山口、坂下、川上地区の活性化に取り組むことを目的として、平成30年にこの地区の区長会やまちづくり協議会、観光協会、商工会関係者らが集まった組織です。
- ・協議会はみやさか地域の活性化を図るため、地域資源を活かした観光事業と移住定住推進事業の2部会で組織されています。
- ・今回協議会では、（仮称）神坂PAスマートインターチェンジやリニア中央新幹線の開通を機会にこの地域が発展し、元気になっていくための取り組みを構想としてチラシにまとめ、地域へ配布、取り組みについて提案していきます。
- ・地域への配布に合わせて市長面談を行い、配布資料について説明します。

お問い合わせ先

定住推進部 山口総合事務所 担当者：楯
電話：0573-75-2126

未来世代につなぐ モミジとハナモモでつながろう みやさか街道



みやさか街道

スマートICによる活性化策

- モミジ
- （神坂地区）
- （山口地区）
- （坂下地区）
- （川上地区）

「住んでよし、訪れてよし」の地域づくりを通じて「持続可能な観光、移住定住」を推進し、人や社会、環境にやさしい「エシカル消費」を通じて、景観保全などの好循環を生み出す施策を展開します。

ハナモモ

至名古屋

～日本の原風景(山、森、街道、集落、里山、田畑、川、ため池、溪谷)を歩こう～



アルコロジーを目指します

歩く + エコロジー

自然環境や地域文化とふれあい
健康寿命を延ばします

川上地区

道の駅
五木のやかた・かわうえ



飛騨街道

山口地区

道の駅
賤母



東山魁夷
心の旅路館

木曾川

神坂地区

地域全体で「道の駅」整備

馬籠宿



中津川温泉
湯舟沢河川敷公園
(仮称)神坂PAスマートIC

坂下地区

道の駅きりら坂下



リバーフロント公園の整備

乙姫公園の整備



乙姫岩

SDGsへの積極的な取り組み

サステナブルツーリズムに沿った企画づくり

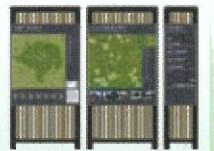
- みやさかフィールドミュージアムウォーキング
- 神坂PAから夕森溪谷までの電動レンタサイクリング
- 移住定住推進特区として、農振除外、農地転用を図る取組み
- 文化庁の補助事業で作製したvivid MIYASAKAのホームページと観光ガイド教本の活用
- 4つの「道の駅」をシステム化し、農産物を融通して廃棄を減らしSDGsに貢献
- 阿寺断崖帯上に位置しているため、「道の駅」を防災拠点として活用

日本独自の自然・歴史・文化
体験を通してのアウトドア教育の
聖地

公共サインシステム構想

沿道景観と調和したデザインで、かつ、各地区へスムーズで円滑な移動を促すため、統一性があり、地区イメージを形成し、連帯感を感じることができる景観に配慮した必要最小限のサインを設置します。

案内サインには、ユニバーサルデザインの思想を導入し、文字・色彩に配慮するとともに、多言語に対応します。
また、QRコードで最新情報を提供できるシステムとします。



▲サインイメージ

観光道路として再整備

(仮称)神坂PAスマートICから下呂市まで続く県道を
全国有数の観光道路として整備

- ・観光道路化に向け、テクノロジーを活用し、道路の維持管理や危険箇所の把握に努める「シビックテック」の導入
- ・自然風景が満喫できる道路としての再整備

か 川上地区

夕森溪谷は、キャンプ場やマス釣り場があり、秋になるともみじの絶景を見ることができます。また、岐阜の名水50選に選ばれた「竜神の滝」まで運動した動線を確保するための整備を行います。

本格的な溪流釣りスタイルで釣りを楽しむことができます。

道の駅「五木のやかた・かわうえ」では、特産品をはじめ、機織り体験をすることができます。

- ◆ もみじによる修景整備
- ◆ 夕森溪谷の再整備
- ◆ 「川上マルシェ」のワークショップ活用

さ 坂下地区

県内最大級のそばの花畑は満開になると真っ白な絨毯のようになり、桜の湖や青い空とのコントラストを楽しむことができます。

武将・木曾義仲にまつわる岐阜県重要無形民俗文化財・花馬祭りは、800年以上続く伝統文化となっています。

道の駅「きりら坂下」では、100%地元産のそばを打って食べられるそば打ち体験もできます。

- ◆ 木曾川沿いリバーフロント公園の整備
- ◆ 桜の湖の魅力向上
- ◆ 地元住民と観光客が安心して利用できる拠点病院の整備

や 山口地区

南に恵那山、西に木曾川を望む美しい自然の中にある地域です。木曾川に架かる乙姫大橋の下流約300mほどに「乙姫岩」とよばれる巨石があり、浦島太郎伝説とともに、伝説にちなんだ地名や屋号が残っています。

リニア中央新幹線を見ることができるとともに、唯一の地区である特性を活かした遊歩道の整備を行います。

道の駅「賤母」が木曾路と美濃路の国境に位置し、東山画伯の版画作品を鑑賞できる「東山魁夷心の旅路館」が併設されています。

- ◆ 梵天山から乙姫公園までのウォーキングルートの整備
- ◆ リニア中央新幹線第一木曾川橋梁(約420m)の展望
- ◆ 東山魁夷心の旅路館の活用

み 神坂地区

神坂地域には、中山道馬籠宿があり、江戸時代の面影を残した歴史ある宿場町です。

文豪・島崎藤村の出生地であり、藤村記念館(文化庁/日本遺産)では「夜明け前」をはじめ、文学にふれることができます。

中央自動車道(仮称)神坂PAスマートICの供用を起爆剤に、玄関口の役割を担う整備を行います。

神坂地区には、道の駅がないため、地域全体で道の駅の機能を受け持ちます。

- ◆ 岐阜県・中津川市の東の玄関口ゲートウェイ整備
- ◆ 観光と移住・定住のインフォメーション整備
- ◆ 中山道、東山道ウォーキングの拠点として世界に発信